

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-2-3	事業名	ごみ減量アクションプログラム支援事業				
担当	環境局環境事業部ごみ減量推進課 道 211-2928						
全体計画							
事業内容	平成17年3月に市民・事業者・札幌市の協働により設立した「さっぽろスリムネット」の一員として、会員である市民・事業者の意見に基づいた各種ごみ減量事業を展開するとともに、ごみ減量実践者を拡大していく。また、本市が未着手である分野において、先駆的に、実験的な事業を実施し、その成果に基づいたごみ減量施策を市政に提案していく。 札幌市は、さっぽろスリムネットの活動の拡大に向けた組織体制の整備について、行政の立場で支援していく。 当該事業には、リサイクル推進基金の運用益が活用されている。			<年度別の事業内容>			
				平成19年度～平成22年度 ・会員である市民・事業者の視点に基づいたごみ減量事業の展開。 ・組織体制を整備し、市民・事業者・行政がより一体となった組織を目指す。			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	平成17年3月に市民・事業者・札幌市の共同により設立した「さっぽろスリムネット」の一員として、下記の5つのプロジェクトにおいて、会員である市民・事業者の意見に基づいた、ごみ減量事業を展開し、ごみ減量実践者の拡大に取り組む。本事業には、リサイクル推進基金の運用益が充てられている。 1 生ごみ減量プロジェクト:(1)生ごみ堆肥化器材の購入助成(ダンボール箱、密閉式容器、コンポスター等)、(2)生ごみ減量リサイクル講師の派遣、(3)生ごみ地域内循環活動支援事業、(4)生ごみリーダー養成講座、(5)生ごみ堆肥拠点回収事業、(6)家庭用廃食油資源化促進事業 2 紙ごみ減量プロジェクト:エコボックスの設置助成 3 容器包装減量プロジェクト:(1)オリジナルマイバックの作成・配布事業、(2)リフェーズ+調査団 4 リユース実践プロジェクト:(1)「リユース広場」の開催、(2)リユースイベントの開催(「まつりだ、環っ!」、リユース広場「大感謝祭」)、(3)第4回サッポロカレッジリユースフェア 5 普及啓発プロジェクト:(1)第3回さっぽろスリムネットフォーラムの開催、(2)買い物ゲーム出張講座の実施、(3)普及啓発活動(6イベントへ参加)、(4)古繊維製品資源化促進事業、(5)ホームページの更新 6 視察会の実施			1 生ごみ減量プロジェクト:(1)生ごみ堆肥化器材の購入助成(生ごみ堆肥化セット:ダンボール箱・密閉式容器、コンポスター等)、(2)生ごみ減量リサイクル講師の派遣、(3)生ごみ地域内循環活動支援事業、(4)生ごみリーダー養成講座、(5)家庭用廃食油資源化促進事業、(6)生ごみ堆肥拠点回収事業 2 紙ごみ減量プロジェクト:エコボックスの設置助成 3 容器包装減量プロジェクト:(1)オリジナルマイバック普及事業、(2)食品トレイリサイクル推進事業 4 リユース実践プロジェクト:(1)リユース広場の開催、(2)リユースイベントの開催 5 普及啓発プロジェクト:(1)フォーラムの開催、(2)環境教育事業(買い物ゲーム出張講座、「おもちゃぱりっこ」事業、出前工作教室)、(3)各種イベントにおける普及啓発活動、(4)ホームページの更新 6 視察会の実施			
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
「さっぽろスリムネット」によるごみ減量実践活動への参加者数		10,000人	10,000人	12,500人	15,000人	17,500人	20,000人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 さっぽろスリムネットは、市民・事業者・行政の連携による活動組織であり、多くの市民の参加を得て、事業を展開している。また、事業には参加する市民の意見を反映させている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] - [人材協力] - [情報協力] - [その他の協力] 市民・行政と連携することで、事業者のごみ減量に向けた自主的な取り組みの拡大が促進される。</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり さっぽろスリムネットは、札幌市民や札幌市内で活動する事業者は誰でも参加することができ、参加する市民・事業者の意見に基づき、ごみ減量事業を展開している。</p>							

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-2-3		事業名	ごみ減量アクションプログラム支援事業		
評価(成果)				課題		
<p>「さっぽろスリムネット」が設立されたことにより、市民・事業者・行政が連携し、ごみ減量に向けた具体的な取り組みを推進・拡大するための体制が整備された。</p> <p>平成17年3月に14名でスタートした同ネットワークの会員数は、平成19年度末には、226名、18団体に達し、平成19年度事業への参加者数は延べ9,889名に上っており、ごみ減量実践者は確実に増えている。同ネットワークの活動をさらに充実させることで、ごみ減量実践者が拡大し、本市のごみ減量・リサイクルが推進される。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ減量実践者の拡大</li> <li>ごみ減量実践活動の充実</li> <li>さっぽろスリムネットの活動拡大に向けた組織体制の整備</li> </ul>		
今後の事業の予定・方向						
<p>会員である市民・事業者の意見に基づき、各種ごみ減量事業を展開し、ごみ減量実践者のさらなる拡大を図っていく。また、行政が未着手である分野において、先駆的なモデル事業などを実施し、その成果に基づいたごみ減量施策を市政に提案していく。</p> <p>札幌市は、さっぽろスリムネットの活動拡大に向けた組織体制の整備に向けて、行政の立場で支援していく。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	12,000	12,000	12,000	12,000	48,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
予算	事業費	12,000	12,983	-	-	24,983
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
実績	事業費	12,000	-	-	-	12,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				52.0%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						